

# 成田営農経済センターだより 令和6年7月



TEL: 0465-38-0131

## <注意>

「収穫〇日前」：定められた使用時期。記載されている収穫前日数まで散布ができます。（前日は24時間前）

「回数」：農薬成分の総使用回数のこと。栽培期間中、何回散布可能か確認しましょう。

△△店舗により農薬の在庫状況が異なりますので、記載の農薬を購入される場合は購入先の店舗に事前に在庫確認をしていただくとスムーズに購入できます。△△

※**網掛け**の農薬につきましては医薬用外劇物となりますので購入時印鑑が必要となります。

## 【水 稲】

**中干し** 効果 ① 無効分けつを抑える ② 根の活力を高める ③ 倒伏に強くする  
④ 田面を固くして秋のコンバイン等の作業性を高めるなど。

田面に軽くひびが入る程度を目安に、5日から1週間程度行います。（強い中干しはさける）  
土壌中に酸素を送り根の健全な生育を促します。茎数が1株20本を超えたら実施しましょう。

**追 肥** 中干しが終わると、追肥の時期となります。

※元肥一発肥料を使用した場合には追肥の使用の必要はありません。

幼穂の長さが2cm前後になった頃を追肥時期の目安にしましょう。

はるみ・キヌヒカリ 出穂15日前頃 化成肥料 17-0-17 12kg程度/10a

てんこもり 出穂20日前頃 化成肥料 17-0-17 18kg程度/10a

施肥時期の目安（5月25日植えの場合）

はるみ・キヌヒカリ 7月22日前後 てんこもり 7月22日前後

葉色が濃い場合や茎数が多い場合は倒伏につながる為、追肥時期を遅らせ施肥量を減らしましょう。

出穂期の目安（5月25日植えの場合）

はるみ・キヌヒカリ 8月6日頃 てんこもり 8月11日頃

## 病害虫防除 7月中旬～下旬

○紋枯病 リンバー粒剤 3～4 kg/10a 収穫30日前 2回又は

モンカット粒剤 3～4 kg/10a 収穫14日前 4回

出穂30日前～10日前に、株元にかかるよう散布

○イネツトムシ **パダン粒剤4（劇）** 3～4kg/10a 収穫30日前 6回 常発地区は必ず散布

ニカメイチュウ 又は スミチオン乳剤 1,000倍 100ml/水100ℓ 収穫21日前 2回

○ヒメトビウンカ スミチオン乳剤 1,000倍 100ml/水100ℓ 収穫21日前 2回

※縞葉枯病の症状が出ている株を発見したら、株ごと抜き取り園外廃棄を行いましょう。

**中後期除草に使用する2, 4Dアミン塩について、有効分けつ終止期～幼穂形成期前まで、収穫60日前までとなっています。収穫前日数については十分注意しましょう。**

カメムシ類について・・・近年発生が多くなっています。減収・品質低下を招きますので除草・薬剤散布を組み合わせることで防除を徹底しましょう。

## <雑草管理>

○出穂前の畦畔の草刈りは出穂の10日前までに済ませましょう。

○出穂前の草刈後3週間程度で雑草が結実し始めます。1回目の防除後に直ちに畦畔の草刈りをしましょう。

○収穫前の畦畔草刈りは収穫期2週間前以降に行いましょう。

8月上旬 (粒剤：出穂7日後) (液剤：出穂10日後)		スタークル粒剤(3kg/10a)	7日	3回
		スタークル豆つぶ(250g/10a)	7日	3回
8月中旬 (粒剤：出穂21日後) (液剤：出穂24日後)	カメムシ類	エミリアフロアブル1,000倍 (60～150ℓ/10a)	7日	2回
		キラップフロアブル2,000倍 (60～200ℓ/10a)	14日	2回

## 【温州みかん】

病害虫防除 \*下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。

7月下旬～8月中旬

○黒点病 ペンコゼブ水和剤 600倍 166g/水100ℓ 収穫30日前 4回

又はジマンダイセン水和剤 600倍 166g/水100ℓ 収穫30日前 4回

○カイガラムシ類 コルト顆粒水和剤 3,000倍 33g/水100ℓ 収穫前日 3回

チャノキイロアザミウマ

○ミカンハダニ メビウスフロアブル(劇) 3,000倍 33ml/水100ℓ 収穫7日前 2回

ミカンサビダニ

アザミウマ類

ミカンハモグリガ

樹別摘果 (大津・青島)

裏年の樹は7月中に全摘果しましょう。表年の樹は、この時期の摘果を控え、10月下旬からの仕上げ摘果で上を向いた極大果だけを摘果しましょう。

## 【不知火・はるみ・湘南ゴールド】

病害虫防除 黒点病の防除が重要となります。必ず行きましょう。

6月下旬～7月上旬 強風・強雨・台風が予測される場合は事前に散布しましょう。

○かいよう病(単用散布) コサイド3000 2,000倍 50g/100ℓ

(薬害軽減のためクレフノン200倍 500g/100ℓを加用)

7月上旬～8月中旬

○黒点病 ペンコゼブ水和剤 600倍 166g/水100ℓ 収穫90日前 4回

又はジマンダイセン水和剤 600倍 166g/水100ℓ 収穫90日前 4回

○ミカンハダニ メビウスフロアブル(劇) 3,000倍 33ml/水100ℓ 収穫14日前 2回

ミカンサビダニ

アザミウマ類

ミカンハモグリガ

※カイガラムシを多く見かけた場合はコルト顆粒水和剤3,000倍 33g/100ℓ 収穫前日 3回を散布する。

摘果

\*不知火・はるみは樹勢維持のため、生理落果が始まったら樹冠上部1/3から1/4を全摘果します。不知火は生理落果終了後に葉100枚に1果、はるみは7月下旬までに葉120枚に1果を目安に摘果します。

\*夏季に乾燥を受けると高酸になりますので、灌水や敷き藁を行い、過乾燥を防ぎましょう。

\*湘南ゴールドは7月20日時点で果実の横径が20mm以下(1円硬貨程度)と粗皮やス上がり果の発生しやすい表層成りの果実をシンニング(摘果)する方法が有効です。

## 【かき】

病害虫防除 7月上旬～中旬 \*下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。

○フジコナカイガラムシ スミチオン水和剤40 1,000倍 100g/水100ℓ 収穫30日前 3回

カメムシ類・イラガ類

○うどんこ病・落葉病 ストロビードライフロアブル 3,000倍 33g/水100ℓ 収穫14日前 3回

カメムシ発生時の対策 7月上旬～10月下旬(夜間の飛来と加害が多いため、夕方に散布しましょう)

モスピラン顆粒水溶剤(劇) 4,000倍 25g/水100ℓ 収穫前日 3回

\*カメムシは山林から飛来して加害します。農薬散布後も、園内を良く見回しましょう。

摘果 (肥大促進・翌年の花芽分化促進)

7月中旬までに1結果母枝に2～3果、1結果枝に1果を目安に摘果をしましょう。この時期に摘果し肥大促進させないと、以後の肥大が悪くなります。

## 【レモン】

### 病害虫防除

7月 \*下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。

〇かいよう病・黒点病 コサイド3000 2,000倍 50g/水100ℓ 又は  
イデクリーン水和剤 500倍 200g/水100ℓ  
(薬害軽減のためクレフノン200倍を加用する)

7月下旬～8月中旬

〇黒点病 シマンダイセン水和剤 600倍 166g/水100ℓ 収穫90日前 4回  
〇ミカンハモグリガ・アザミウマ類 メビウスフロアブル(劇) 3,000倍 33ml/水100ℓ  
チャノホコリダニ・ミカンサビダニ 収穫14日前 2回

※コサイド3000、イデクリーン水和剤との混用は効果低減を招くのでしない。

※カイガラムシを多く見かけた場合は、コルト顆粒水和剤3,000倍 33g/水100ℓ 収穫前日 3回  
を散布する

※シマンダイセンを散布できない場合は、キノンドー水和剤80 800倍 125g/100ℓ 収穫30日前  
3回を散布する。

## 【う め】

### 病害虫防除

7月中旬～下旬

〇黒星病・環紋葉枯病 トップジンM水和剤 1,500倍 66g/水100ℓ 収穫21日前 3回

### 礼肥の施用

5月下旬～7月中下旬

(目的) 樹勢回復と翌年の花芽充実のため。一番重要な肥料なので、必ず施用しましょう。

梅配合 120kg/10a

## 【キウイフルーツ】

### 病害虫防除

7月上旬

\*下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。

〇果実軟腐病 ナリアWDG 2,000倍 50g/水100ℓ 収穫前日 2回

〇キウイヒメヨコバイ モスピラン顆粒水溶剤(劇) 2,000倍 50g/水100ℓ 収穫7日前 3回

カイガラムシ類

〇カメムシ類発生時 スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 50g/水100ℓ 収穫前日 3回

7月下旬～8月中旬

〇キイロマイコガ フェニックスフロアブル 4,000倍 25ml/水100ℓ 収穫7日前 3回

### 夏季剪定

止め葉が出る6月中旬ごろより夏季剪定を実施し、棚下の明るさを維持しましょう。

\*晴天の日で、土の表面にところどころ日が射す程度

### 乾燥防止対策

梅雨明け後の乾燥に注意。敷き藁や灌水を実施し、土壌の乾燥を防ぎましょう。

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

# ~~~~~お知らせ~~~~~

## 令和6年度酒匂川左岸の干し及び落水のお知らせ

日程の発表がありましたので掲載いたします。

### 【酒匂川左岸土地改良区】

#### ○一番干し（干し3日間）

武永田取水門操作	7月5日（金） 7月8日（月）	午前5時全量止水 午前5時全量通水	干し3日間（7/5～7/7）
----------	--------------------	----------------------	----------------

#### ○二番干し（干し4日間）

武永田取水門操作	7月19日（金） 7月23日（火）	午前5時全量止水 午前5時全量通水	干し4日間（7/19～7/22）
----------	----------------------	----------------------	------------------

○2分の1落水 令和6年9月15日（金） 午前7時

○全量落水 令和6年9月30日（土） 午後5時

<お問合せ先>酒匂川左岸土地改良区 TEL:0465-42-3559

## 水稻栽培講習会の開催について ～夏の管理ポイントをつかむ！～

下記のとおり講習会を開催いたします。ぜひご参加ください。

### 1. 日時・会場 ※雨天決行

日付	時間	集合場所	備考
7/10（水）	9時30分より	曾我みのり館 第2駐車場 （小田原市上曾我 2984）	集合後、圃場へ移動します。

2. 対象者 JA かながわ西湘管内組合員（水稻栽培者）

3. 内容（予定 全日程共通） ①追肥について ②斑点米カメムシ対策について  
③その他（肥料・農薬紹介 など）

※水田にて稲の観察をしますので、雨・暑さ対策を各自お願いします。

※発熱や風邪の症状がある方は参加をお控えください。

4. 講師 農業技術センター

5. 申込 7/3（水）までに営農部営農指導課

または最寄りの支店・センターまでお申込みください。

（お問合せ）

J A かながわ西湘

営農部営農指導課

TEL：0465-46-6950

## 成田営農経済センター展示即売会の開催について

下記の日程で即売会を開催いたします。皆様のご来店を心よりお待ちしております。

**開催場所：成田営農経済センター**

**開催日時：令和6年7月27日（土） 8:40～14:00 雨天決行**

当日は肥料、除草剤、飲料を特別価格にて販売させていただきます。

また、バッテリー・動力式の農機具の展示や網戸・ペアガラス施工の相談、

ねっとショップの登録サポートも行います。